

## 2. Column①：【企業法務】顧問弁護士活用事例

顧問弁護士を依頼するかどうかお悩みの企業様にとってご参考となるよう、以下では当事務所における顧問先様の相談事例・活用事例についてご紹介いたします。

### 活用事例7：IT企業 契約トラブル

#### ● お問い合わせ内容

顧問先企業様は、IT関連のサービスを提供する法人です。  
ソフトの製作依頼を受けて開発作業に着手しましたが、取引先との間で、ソフトの出来を巡って意見が対立しました。  
その結果、顧問先企業様と取引先との交渉が延々と続いてしまったために対応に窮してしまい、顧問弁護士である当事務所に相談に来られました。



#### ● 解決方法

当事務所でお話をうかがい、まずは契約書をチェックするとともに、双方の主張を整理しました。  
その後、当事務所が顧問先企業の代理人として相手方の交渉を担当・対応することといたしました。  
その結果、顧問先企業は、相手方との交渉対応の負担を大幅に軽減することができ、引き続き本業に専念することが可能となりました。

#### ● 所感



顧問契約を締結いただくことのメリットの一つは、気軽に法的アドバイスを  
を得ることができる上、交渉対応についてもすぐに弁護士に対応を依頼す  
ることができるという点にあります。

本件でも、早期に弁護士に対応を依頼したことで、顧問先企業は従前どおり本業に専念することが可能となり、業務の停滞等の支障を回避することができました。

弁護士は、依頼者の代理人として活動できるため、交渉対応等を依頼いただくことで、顧問先企業の負担を軽減することが可能となります。

顧問契約の締結を検討されている企業がいらっしゃいましたら、ぜひ一度お気軽にご相談ください。



## 活用事例8：自動車整備会社 修理代金未払いの顧客とのトラブル

## ● お問い合わせ内容

顧問先企業様は、交通事故を起こしてしまった方から依頼されて自動車の修理を引き受けましたが、修理完成后、依頼した方が一切連絡に出なくなってしまう、自動車の修理代金はおろか、自動車の引き取りさえ応じてくれなくなってしまうました。

顧問先企業様としては、修理代金も支払ってもらえない上、自動車の引き取りにさえ応じてもらえないために困ってしまい、当事務所に相談にお越しになりました。

## ● 解決方法



当事務所でお話をうかがい、まずは相手方との連絡をとることにしました。

そこで、当事務所で相手方の所在地を確認するとともに、通知書を送付し、交渉対応することとしました。

その結果、顧問先企業は、相手方との交渉の負担を軽減することができ、引き続き本業に専念することが可能となりました。

## ● 所感

## 顧問先企業様のみでは対応しきれない手続を進めることができます

本件では、顧問先企業様だけでは、そもそも相手方の現住所さえ把握することも困難な状況にありました。そこで、顧問弁護士である当事務所が代理人として対応し、相手方の現住所の調査から引き受けたことで、具体的な交渉を前進させることが可能となりました。

弁護士には弁護士会照会等、様々な調査手続をとることが可能ですので、顧問先企業様のみでは対応しきれない問題に対しても手続を進めることができるケースもあります。

顧問弁護士がどこまで対応できるかはケース・バイ・ケースとなりますが、交渉対等等でお困りの場合にはぜひ一度顧問弁護士までご相談ください。

